



炎を見ながら寛ぐペレットストーブを提案。主力のプレハブ事業と並ぶ柱へ育てたい。

短期・簡易な施工の建物として活躍するプレハブを、地域で展開してきたヤマノイ。会社で10年以上前から取り組んでいるのが、暖かくて環境配慮のペレット材を使うストーブの提案。夢はリゾート開発と心を燃やす山野井さんに話を聞きました。

地域の建物を築いて貢献

当社は父の代からプレハブ事業を創業、平成最後の今年で45年になります。法人化してから31年、特定の取引先に依存せず、延べ千社以上の実績を重ね、「プレハブならヤマノイ」の信頼も築いてきました。最近ではインターネットで全国の会社から問い合わせがあります。横浜本社の部品メーカーから問い合わせで、広島に部品の試験室を建てるオーダーがあり、英語の図面を見ながら業者と対応。葬儀会社の家族葬ホールを建てる依頼では、県外の葬儀会社へ施設見学に出かけ、参考にしながら完成。「使いやすい建物」と満足いただきました。プレハブは施工期間が短く汎用性があり、事務所や店舗施設など、当社も幅広く関わっています。仕事で心がけているのは、何よりもお客様の建物を造るといふ姿勢。細かい部分の広さや使いやすさ、使う人の動線など、相手の立場になってこた

わることです。それが大きな信頼を育んできたと思いますね。

ストーブで広がる出会い

現在はペレットストーブの提案にも事業を広げています。ペレットとは間伐材や製材時に出る粉や屑を固めた燃料で、環境配慮にもつながっています。当社は10年以上前からペレットで火を燃やすストーブを取り扱い、好評を得ています。ペレットストーブの魅力は本物の炎による包み込まれるような暖かさ。配管工事は必要ですが、薪を使うストーブよりも工事が簡単で、薪を扱う手間もなく、幅広い世代のお客様から相談があります。最近では新築住宅の設計時から関わったり、マンションにも設置するなど、注目されていますね。炎のゆらめきを眺めながら寛げる時間は、とても人間らしい贅沢で癒されます。お客様の喜びも伝わり、北海道から鹿児島まで、同業者を含めた広域のネットワークも広がっています。

リゾートの夢を追い求めて

私は若い頃、長距離運転に憧れて、ドライバーの仕事も考えたことがあります。これからも活動的に生きたいと思っています。最近は一人で人里離れた山や森に行き、焚き火を眺めながら酒を飲む時間を楽しんでいます。実は若い時からリゾートを開発するのが夢。難しい挑戦ですが、ペレットストーブのある宿泊施設など、自然の中で寛げる場所を造りたい。火を扱えるのは動物で人間だけに、火を見ると何か本質的なものに触れられる喜びがあります。夢を追い求めながら、人が集い、地域に貢献する建物と空間づくりを続けたいと願っています。就職先を探すのではなく、やりたい事は何かのかを考へ、簡単に夢を諦めない姿勢も大切にしてほしいですね。



本社の1階はショールーム風の演出。ペレットストーブの人気商品も並ぶ。



ヤマノイ株式会社
代表取締役
山野井 重典 さん
(やまのい・しげのり)

広島市出身。工業高校の機械科を卒業。地元のハウスメーカーに就職後、多忙だった家業のプレハブ事業を手伝うため戻り、平成元年に法人化、現在に至る。趣味は近場の山へ入って楽しむキャンプ。

ヤマノイ(株) 広島市西区庚午中4-11-31 082-273-5861
<http://www.yamanoi-kk.jp>